

(配布先)

事務連絡(安-2020-37)

2020年9月23日

施工担当部署長・建設所長
副部長・副所長・統括工事長
設備部長・安全長・安全主任
S・BLC関西支社
関西支店取引業者災害防止協議会

関 西 支 店

安全環境部長 

【紙回覧】墜落・転落災害防止の再徹底について(要請)

安全環境本部安全部長より要請がありましたので連絡します。

過日、他支店に於いて、鳶工が1.7m転落するという不体災害が発生しました。
(発生状況<別紙参照>を確認してください)

安全環境本部の調査によると、予定にないピット内部足場の上段部の解体が当社に報告されることなく実施され、スラブ床端の手摺りなども設置されていませんでした。当社社員も、危険な状態に気付く機会があったと思いますが見過ごされ、更に当該開口部にはコンクリート漏出汚れ防止シートを張り、いわば落とし穴の横で作業をさせるという、危険極まりない状況が放置されていたことに驚きを禁じ得ません。

先日、事務連絡(安2020-35)にて墜落災害防止の再徹底を要請したばかりにもかかわらず、同種の事案が発生し墜落災害防止に対する姿勢に疑義が生じています。

つきましては、同種墜落・転落災害防止の再徹底のため、安全環境本部要請事項の周知・徹底をしてください。

以 上

(配布先)
部門安全環境部長

事務連絡 20-28
令和2年9月15日

安全環境本部
安全部長 

墜落・転落災害防止の再徹底について（要請）

先日、当社新築工事作業所において、地下1階スラブ上の免震基礎コンクリート打設中の鳶工が、スラブ上からピット内足場上に1.7m転落、肋骨2本を骨折するという災害が発生しました（別紙参照）。幸いにも足場上への転落で済みましたが、ピット底部まで直接墜落した場合3.7mの高さがあり、死亡災害になってしまっても不思議ではない事案です。

現地調査によると、予定にないピット内部足場の上段部の解体が当社に報告されることなく実施され、スラブ床端の手摺りなども設置されていませんでした。当社社員も、危険な状態に気付く機会があったと思いますが見過ごされ、さらに当該開口部にはコンクリート漏出汚れ防止シートを張り、いわば落とし穴の横で作業をさせるという、危険極まりない状況が放置されていたことに驚きを禁じ得ません。

今年度は、墜落災害を撲滅すべく「安全帯未使用ペナルティ制度の見直し」等の施策を講じていますが、9月7日付の事務連絡20-26にて墜落災害防止の再徹底を要請したばかりにもかかわらず、同種の事案が発生し、作業員の安全帯の使用以前に、当社の墜落災害防止に対する姿勢に疑義が生じている状況です。

つきましては、墜落・転落災害防止の再徹底のため、下記事項を作業所関係者に指示するよう強く要請します。

記

1. 現場の墜落・転落防止対策について、日程を決めて総点検を実施すること
2. 足場の組立・解体または変更の作業については、必ず事前に当社社員に報告させること

以上

(転落) コンクリート打設作業中、鳶工がビスラブ上からピット内足場上に1.7m転落

◇ 発生日時 : 2020年9月9日 (水) 午後4:15分頃
◇ 被災者 : 鳶工 60 歳 (所属 1次) 経験 16年11ヶ月



【発生状況】

地下1階の免震スラブ上で、免震基礎コンクリート打設作業(バイブレーター締固め)を行っていた鳶工が、コンクリートがあふれ受けの養生シートで開口部が見えない状態で、あふれたコンクリートを押さえようと、とつさに足を踏み出しバランスを崩してピット内足場上に転落した(高さ1.7m)。2日前まで開口部を免震スラブの高さまで設置していたが、型枠解体のため上部1段を解体してしまったため、床開口となっていた。開口部を知らせる表示はあつたが、手摺、親綱、水平ネット等の墜落防止設備はなかつた。

(右第9,10肋骨骨折) (休業見込日数 0 日)